

おいでん・さんそんSHOW

「まちとむらをつなぐ」おいでん・さんそんセンターの活動をご紹介！



↑2月21日（日）の報告会の様子

2月21日（日）、地域スマートビジネス研究会が主催する「ミライの職業訓練校 受講生成果報告会」が、とよた市民活動センターで開催されました。

ミライの職業訓練校は、27年度の豊田市事業『新☆豊田市誕生10周年プロジェクト市民発！まちづくりシン展事業』として採択され、農山村で生きるために必要な技を学び、同時にクリエイティブな技能を身につけるモデル的職業訓練を行った。農山村で生きるために必要な技を学び、同時にクリエイティブな技能を身につけるモデル的職業訓練を行った。農山村で生きるために必要な技を学び、同時にクリエイティブな技能を身につけるモデル的職業訓練を行った。

ミライの職業訓練校は、27年度の豊田市事業『新☆豊田市誕生10周年プロジェクト市民発！まちづくりシン展事業』として採択され、農山村で生きるために必要な技を学び、同時にクリエイティブな技能を身につけるモデル的職業訓練を行った。



↑実践コースの様子



↑基礎コースの様子

ミライの職業訓練校 受講生成果発表会 仲間と共に「モヤモヤ」を進化



まちなか
MACHINAKA

子育てを見て、体験して、お互いの考え方をシェアしながら暮らしのあり方を考えました。11月から1月に全4回行われた実践コースでは、参加者が大切にしたい生き方を実践するために必要なナリワイを、仲間と共に師匠を呼んで学び、インターインしながら生きる糧を身に付けました。

3月号
2016.3.29発行

【3月号 2016.3.29発行】

おいでん・さんそんSHOW

http://www.oiden-sanson.com

とよた山里暮らし通信員 おいでん・さんそんズ レポート

vol. 4

ニワトリのいる生活

あたし、ニワトリのニワ子と申します。てくてく農園在住、夢見るおてんば娘でございます。庭にいる鳥。だからニワトリらしいわ。最近では庭にいるのは珍しくなったみたい。ちょっと前まで家々に家畜がいることは普通で、あたしたちも人間と共に生きてきたわ。人間の残飯とかそこらの草も、あたしたちにとっては最高のエサ。

それでたまご産めるし、おまけに鶏糞は田畠に使えるよ。格好よくいえば循環型農業とか、エコっていうのかしら。あたし自身はそんなことは興味がなく、今日もたまごを産むのに一所懸命。あ、横江氏がエサを持ってきたわ。本日の材料はなにかしら。人間の庭にいる暮らし、ニワ子にとっても、ケッコー快適よ！



横江克也さん

旭地区在住

有機農業を中心とした「自給自足な暮らしをしたい」と、結婚とともに夫婦で移住。豊田市の空き家情報バンクを利用し、2011年3月から旭地区での暮らしをスタートさせる。移住後に「てくてく農園」を開業。楽しむ暮らしのために、生業として農家という職業を選んだ。2人にとっては自然な流れで、農家とは、暮らしのものが生業だと感じている。

コンテストで採択された20事業は、多分野にわたり、共通する理念が、いずれも「つながること」にあつたと最近になって気づいた。大賞を受賞した「人と木をつなげるプロジェクト」は、その象徴的事業と言える。木材の生産流通、デザイン加工、販売などに関わる地域内の異業種がこの事業でつながり、生産者から消費者までが顔の見える関係を築き、地消地産の経済循環を図りながら「人と木」すなわち人と森、自然をつなげる取組みもある。hitotokiブランドで完成させたスツール（椅子）は、全国公募のウッドデザイン賞で入賞の快挙も成し遂げた。

人と人、人と自然、都市と農村、地域と企業がつながる社会をデザインしサポートするおいでん・さんそんセンターの取組みに自信と確信を持つことができた。

豊田市企画政策部企画課 おいでん・さんそんセンター

MAIL:sanson-center@city.toyota.aichi.jp

おいでん・さんそんセンター

検索

イベント情報

あすけ夢里まつり2016

豊田・足助に宿る一日だけの「夢の里」。春の小旅行もかねて、ぜひお越しください。

●日時:4月24日(日) 10:00~16:00(雨天決行)
●場所:豊田市足助町 三州足助屋敷前広場
●内容:☆手づくり市:手作り雑貨・草木染物・お弁当・パン・地元職人による工芸品・もんぺ・キャンドルなど☆ワークショップ:香嵐溪の自然散策・木エワークショップ・さをり織り・豊田産の木材で楽器を作ろう!建前ごっこ・よもぎもち作り(予定)など☆ファーマーズマーケット:地元農家の野菜・加工品・お米など☆もんべつアッシュションショーブ:個性的なおしゃれもんべつをした人が大集合☆ステージ:多彩なアーティストが会場をにぎやかしてくれます!今年は、参加型ワークショップや企画が盛りだくさん!

ワークショップの事前申込情報など詳しくは
あすけ夢里まつりホームページ <http://yumesato.jimdo.com/>
Facebookページ <https://www.facebook.com/asukeyumesato>



足助春まつり

足助次郎重範公を祀る足助神社の春祭り。

●日時:4月9日(土)14:00~17:00頃・10日(日)6:30~17:00頃
●場所:足助八幡宮(あすけはちまんぐう)
●内容:7つの町内から桜・藤・椿などで飾られた花車が出され、町中が鮮やかに彩られるのが魅力。花車には少女が乗り、お囃子の太鼓を鳴らし、歌を歌いながら町を練る、華やかな女の子のお祭りです。
試楽…9日 14:00~17:00頃
本楽…10日 6:30~17:00頃



その他情報は、センターHPをチェック!
<http://www.oiden-sanson.com/event/>

センター長の
ミライの
フツーに向かって!
つながる社会
センター長 鈴木辰吉



センター長
鈴木辰吉

ミライのフツーを目指そう!をキャッチコピーにした

新☆豊田市誕生10周年プロジェクトが、市民発!まちづくりシン展事業最終報告会とともにファイナーレを迎えた。

おいでん・さんそんセンターの使命に直結するこの事

業に市民会議委員、シン展事業実行委員として関わ

る」ことができ、爽快な達成感と多くの学びを得ること

ができた。「分野」「地域」「主体」「世代」の垣根を越え

た課題解決の取組みを応援するシン展事業「ミライの

フツー☆チャレンジコンテスト」は、縦割りを脱却する行

政の挑戦でもあった。

新☆豊田市誕生10周年プロジェクトが、市民発!まち

づくりシン展事業最終報告会とともにファイナーレを迎

えた。

おいでん・さんそんセンターの使命に直結するこの事

業に市民会議委員、シン展事業実行委員として関わ

る」ことができ、爽快な達成感と多くの学びを得ること

ができた。「分野」「地域」「主体」「世代」の垣根を越え

た課題解決の取組みを応援するシン展事業「ミライの

フツー☆チャレンジコンテスト」は、縦割りを脱却する行

政の挑戦でもあった。

新☆豊田市誕生10周年プロジェクトが、市民発!まち

づくりシン展事業最終報告会とともにファイナーレを迎

えた。

おいでん・さんそんセンターの使命に直結するこの事

業に市民会議委員、シン展事業実行委員として関わ

る」ことができ、爽快な達成感と多くの学びを得ること

ができた。「分野」「地域」「主体」「世代」の垣根を越え

た課題解決の取組みを応援するシン展事業「ミライの

フツー☆チャレンジコンテスト」は、縦割りを脱却する行

政の挑戦でもあった。

新☆豊田市誕生10周年プロジェクトが、市民発!まち

づくりシン展事業最終報告会とともにファイナーレを迎

えた。

おいでん・さんそんセンターの使命に直結するこの事

業に市民会議委員、シン展事業実行委員として関わ

る」ことができ、爽快な達成感と多くの学びを得ること

ができた。「分野」「地域」「主体」「世代」の垣根を越え

た課題解決の取組みを応援するシン展事業「ミライの

フツー☆チャレンジコンテスト」は、縦割りを脱却する行

政の挑戦でもあった。

新☆豊田市誕生10周年プロジェクトが、市民発!まち

づくりシン展事業最終報告会とともにファイナーレを迎

えた。

おいでん・さんそんセンターの使命に直結するこの事

業に市民会議委員、シン展事業実行委員として関わ

る」ことができ、爽快な達成感と多くの学びを得ること

ができた。「分野」「地域」「主体」「世代」の垣根を越え

た課題解決の取組みを応援するシン展事業「ミライの

フツー☆チャレンジコンテスト」は、縦割りを脱却する行

政の挑戦でもあった。

新☆豊田市誕生10周年プロジェクトが、市民発!まち

づくりシン展事業最終報告会とともにファイナーレを迎

えた。

おいでん・さんそんセンターの使命に直結するこの事

業に市民会議委員、シン展事業実行委員として関わ

る」ことができ、爽快な達成感と多くの学びを得ること

ができた。「分野」「地域」「主体」「世代」の垣根を越え

た課題解決の取組みを応援するシン展事業「ミライの

フツー☆チャレンジコンテスト」は、縦割りを脱却する行

政の挑戦でもあった。

新☆豊田市誕生10周年プロジェクトが、市民発!まち

づくりシン展事業最終報告会とともにファイナーレを迎

えた。

おいでん・さんそんセンターの使命に直結するこの事

業に市民会議委員、シン展事業実行委員として関わ

る」ことができ、爽快な達成感と多くの学びを得ること

ができた。「分野」「地域」「主体」「世代」の垣根を越え

た課題解決の取組みを応援するシン展事業「ミライの

フツー☆チャレンジコンテスト」は、縦割りを脱却する行

政の挑戦でもあった。

</div



講演会『一人の例外もなく

ミチナカ

第5回ほんわか里山交流まつり
IN香恋

第5回ほんわか里山交流まつり

山文充
井



員として関わら
区のみなさんの
チームワーク
の良さに感動
しました。今
回のイベント
で生まれた新
たなつながり
が広がってい
くことを願つ
ています。

や人工林・里山林のなりたち、森の多面的機能などについて学びました。参加者からは、これから森林利用と保全についての質問があり、全体での討議も活発に行われました。

里
し
も
や
ま

下
山

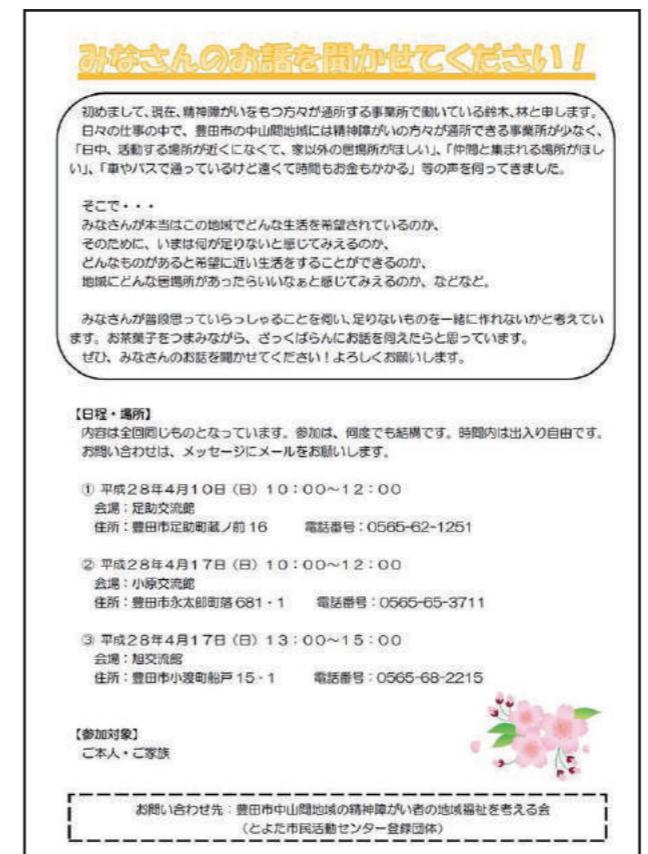
SHIMOYAMA

森のめぐみ＆なりたち講座

3月号 2016.3.29発行】

二人は、市内の中山間地域に住む精神障がいの方たちの「医療機関や福祉事業所に通うのが大変」、「福祉サービスが近くに少ない」「身近に働く場所がない」といった現状を憂慮していました。それらの現状と、中山間地域の抱える「少子高齢化」、「耕作放棄地」などの課題を掛け合わせて何かできないうだろかという『モヤモヤ』を感じ、ミライの職業訓練校への入校を決めました。基礎コース、実践コースと進む中で、他の受講生、実際に中山間地に住む当事者、すでに事業所を運営している方などから様々な意見、考え方を聞く機会を得て、『モヤモヤ』から一步抜け出すことができたそうです。お二人は2月に『豊田市中山間地域の精神障がい者の地域福祉を考える会』を発足し、3～4月にかけて稻武、下山、足助、小原、旭の各地区で精神障がい者ご本人、ご家族がどんな生活を希望されているのかなどをざつくばらんにお話していただき会を開催されていま

一人ながら懐みてあるはすの「モヤモヤ」を、集まつた仲間で分かち合い、新たな飛躍のヒントとして取り組んできました。
「もともと何をやるのか?」「その先に何があるのか?」が解りにくい「ミライの職業訓練校」ですが、集まつた受講生で「モヤモヤ」を共有し、仮説を転がし、自らが動いてみる事で、想定外の成果を導き出せた事が確認できました。
もうすでに来年度の受講希望者が現ははじめ、28年度も実施して欲しいと



鈴木さん、林さんが発足した「豊田市中山間地域の精神障がい者の地域福祉を考える会」が各地区を回って聞き取りをする日程。問合せ・申込は、toyota.chuuusanpan.fukushi@gmail.com

↑報告会の最後に集合写真を撮影

The image consists of two parts. On the left is a large banner for the 'INABU BASE PROJECT' featuring a man in a suit, a map of Inabu-land with various landmarks like 'Inabu-land', 'Inabu River', and 'Inabu Station', and text encouraging people to 'play' and 'work' there. On the right is a map of the Inabu area with specific locations marked.



(※1) 地元企業で自動車用シートの縫製を手がけるトヨタケ工業(株)が高齢・過疎化が進む武地区へ移住を呼び掛けるため、地元営農組合と組み、工場公開・就農体験・空き家利用をパッケージに、参加者に「橋武での暮らし」を分かりやすく紹介する取組。新☆豊田市誕生10周年プロジェクト「市民発! まちづくりシン展事業」の採択事業 (※2) 自然が豊かに残る長野県駒ヶ根市を舞台に活動。